

# 6

## カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 / 95 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。  
Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。  
本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは .... 176
- 2** 標準システムを復元する ..... 177
- 3** 最小構成でシステムを復元する  
(Windows 98 / 95 モデル)..... 181
- 4** アプリケーションを再インストールする  
(Windows 98 / 95 モデル)..... 183

# ① カスタム・リカバリCD / リカバリCD とは

## ① カスタム・リカバリCD とは (Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows およびデバイスドライバを復元します。アプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 / 95 モデル)」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 / 95 モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

## ② リカバリCD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーションCD-ROM (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCD-ROMは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項についてはアプリケーションCD-ROMをCD-ROM装置にセットし、Autorun機能により表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD / アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

## ② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

### ① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

Windows 95 モデルの場合は、Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベル (Windows セットアップで入力する、Product ID が印刷されています)

☞ Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルの位置について

⇒ 「2 章 2-2 Windows 95 のセットアップ」

取扱説明書 (本書)



メモ

・Windows 2000 / NT モデルの場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、Windows 2000 の場合は「ディスクの管理」、Windows NT の場合は「ディスクアドミニストレータ」を使用してください。

### ② 操作手順

#### Windows 98 / 95 モデルの場合



**注意** ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 パソコンをご購入時の状態に戻す  
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの **Delete** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる  
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。  
「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITES」が表示されたらキーを離します。
- 4  キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**Enter** キーを押す
- 5  キーで「1st Boot Device」を選択する  
「Available Options : 」の画面が表示されます。
- 6 **PageUp** **PageDown** キーで「CDROM」を選択する
- 7 **Esc** キーを押し、**F10** キーで設定を保存する

[ Save current settings and exit (Y/N) ? Y ] のメッセージが表示されるので「Y」が選択されていることを確認し、**Enter** キーを押します。

## 8 [1]キーを押す

「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。

## 9 [1]キーを押す

クイックフォーマットをする場合は、[2]キーを押してください。

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

## 10 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

## 11 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

## 12 「TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの[Delete]キーを押し、BIOS セットアップを起動する

「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITES」が表示されたらキーを離します。

## 13 [ ] [ ]キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、[Enter]キーを押す

## 14 [ ] [ ]キーで「1st Boot Device」を選択する

「Available Options : 」の画面が表示されます。

## 15 [PageUp] [PageDown]キーで「Floppy」を選択する

## 16 [Esc]キーを押し、[F10]キーで設定を保存する

[ Save current settings and exit ( Y/N ) Y ? ] のメッセージが表示されるので「Y」選択されていることを確認し、[Enter]キーを押します。

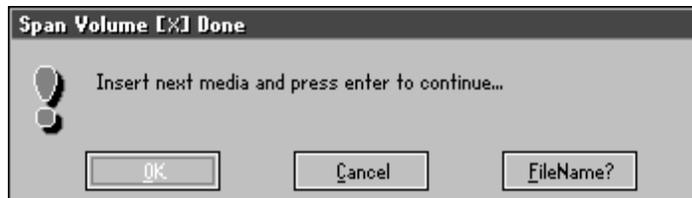
システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

## Windows 2000 / NT モデルの場合

**!** 注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1** パソコンをご購入時の状態に戻す  
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 2** 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3** キーボードの **[Delete]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる  
「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITES」が表示されたらキーを離します。
- 4** **[ ] [ ]** キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 5** **[ ] [ ]** キーで「1st Boot Device」を選択する  
「Available Options : 」の画面が表示されます。
- 6** **[PageUp] [PageDown]** キーで「CDROM」を選択する
- 7** **[Esc]** キーを押し、**[F10]** キーで設定を保存する  
[ Save current settings and exit (Y/N) Y? ] のメッセージが表示されるので「Y」選択されていることを確認し、**[Enter]** キーを押します。  
「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。
- 8** Windows 2000を復元する場合には、**[1]** キーを押す  
Windows NTを復元する場合には、**[2]** キーを押す  
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
- 9** 復元の処理を開始する場合には、**[Y]** キーを押す  
処理を中止する場合には、**[N]** キーを押す
- 10** メッセージに従い、「Product Recovery CD-ROM」を入れ替える  
Windows 2000の復元中に次のメッセージが表示された場合には、「Product Recovery CD-ROM Disk2」に入れ替えて、**[Enter]** キーを押してください。



- 11** 復元が完了したら、「Product Recovery CD-ROM」をCD-ROMドライブから抜く
- 12** 何かキーを押して、システムを再起動する

**13** 「TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの **Delete** キーを押し、BIOS セットアップを起動する

「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITES」が表示されたらキーを離します。

**14** **↑** **→** キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**Enter** キーを押す

**15** **↑** **→** キーで「1st Boot Device」を選択する

「Available Options : 」の画面が表示されます。

**16** **PageUp** **PageDown** キーで「Floppy」を選択する

**17** **Esc** キーを押し、**F10** キーで設定を保存する

[ Save current settings and exit ( Y/N ) Y ? ] のメッセージが表示されるので「Y」選択されていることを確認し、**Enter** キーを押します。

システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

# 3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98/95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルでは、Windows およびデバイスドライバを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたアプリケーションなどはインストールされません。



・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

## 1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

Windows 95 モデルの場合は、Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベル（Windows セットアップで入力する、Product ID が印刷されています）

☞ Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルの位置について

⇒「2章 2-2 Windows 95 のセットアップ」

取扱説明書（本書）

## 2 操作手順



**注意** ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 パソコンをご購入時の状態に戻す  
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの **[Delete]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる  
「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITES」が表示されたらキーを離します。
- 4 **[ ] [ ]** キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**[Enter]** キーを押す
- 5 **[ ] [ ]** キーで「1st Boot Device」を選択する  
「Available Options : 」の画面が表示されます。
- 6 **[PageUp]** **[PageDown]** キーで「CDROM」を選択する
- 7 **[Esc]** キーを押し、**[F10]** キーで設定を保存する  
[ Save current settings and exit (Y/N) Y? ] のメッセージが表示されるので「Y」選択されていることを確認し、**[Enter]** キーを押します。  
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

**8** **[2]**キーを押す

「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。

**9** **[1]**キーを押す

クイックフォーマットをする場合は、**[2]**キーを押してください。

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

**10** **[Y]**キーを押す

処理を中止する場合は、**[N]**キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

**11** CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

**12** 「TOSHIBA」の画面が表示されたら、キーボードの**[Delete]**キーを押し、  
BIOS セットアップを起動する

「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITES」が表示されたらキーを離します。

**13** **[ ] [ ]**キーで「Advanced CMOS Setup」を選択し、**[Enter]**キーを押す

**14** **[ ] [ ]**キーで「1st Boot Device」を選択する

「Available Options : 」の画面が表示されます。

**15** **[PageUp]** **[PageDown]**キーで「Floppy」を選択する

**16** **[Esc]**キーを押し、**[F10]**キーで設定を保存する

[ Save current settings and exit (Y/N) Y? ]のメッセージが表示されるので「Y」選択されていることを確認し、**[Enter]**キーを押します。

システムが起動し、Windowsのセットアップが始まります。

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

## 4 アプリケーションを再インストールする(Windows 98/95モデル)

Windows 98 / 95 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

### 1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う



# 7

## 困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。  
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

<b>1</b>	困ったときのQ & A .....	186
----------	-------------------	-----



# 1 困ったときのQ & A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、各システムのマニュアルを参照してください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない .....	186
● エラーメッセージが表示される .....	187
● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない .....	187
● 画面の表示がおかしい .....	188
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない .....	189
● マウスの操作ができない .....	190
● フロッピーディスク装置が使えない .....	190
● フロッピーディスクが使えない .....	191
● アプリケーションソフトが使えない .....	191
● ハードディスク装置が使えない .....	192
● CD-ROM 装置が使えない .....	192
● サウンドが鳴らない .....	193
● 印刷できない .....	193
● テレビ、ラジオに障害が出る .....	194
● 異常や故障の場合 .....	194
● どうしてもわからない場合 .....	194

## ● 電源が入らない

**状況** ● 本体の電源が入らない

**確認** 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？



対処

● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

**確認** 電源ランプは点灯していますか？



対処

● 電源スイッチを押してください。

**確認** 電源コンセントに電源が通じていますか？



対処

● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

## エラーメッセージが表示される

**状況** ● 起動時にエラーメッセージが表示される

**確認** システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

**対処** ● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動する

**確認** 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

**対処** ● 電源を切ってから 5 秒以上待って電源を入れてください。

**状況** ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

**対処** ● アプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

**状況** ● 「CMOS checksum Bad. 」というエラーメッセージが表示される

**確認** 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

**対処** ● 内蔵バッテリーを交換してください。

☞ 「4 章 11 内蔵バッテリーの交換」

## Windows NT でシャットダウン後電源が切れない

**状況** ● Windows NT でシャットダウン後、パソコン本体の電源が切れない

**確認** Windows NT を再インストールしましたか？

**対処** ● 東芝ソフトウェアパワーオフ機能を再度インストールしてください。  
インストールについてはアプリケーション CD-ROM を CD-ROM 装置に  
セットし、Autorun 機能により表示される画面に従ってください。

## ● 画面の表示がおかしい

**状況** ● 画面に何も映らない

**確認** パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

**対処** ● 電源を入れてください。

**確認** ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

**対処** ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

**確認** ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

**対処** ● ゆるみがないように正しく接続してください。

**確認** 表示自動停止機能が働いていませんか？（Windows 98 / 95 / 2000）

**対処** ● **Shift** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

**確認** USB 機器は接続していますか？

**対処** ● 接続されている USB 機器によっては、USB 機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてから USB 機器の電源を入れてください。

**確認** ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

**対処** ● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行ってください。

**状況** ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

**確認** ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

**対処** ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

**確認** ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？



●ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

## ● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

**状況** ●キーボードから入力できない

**確認** キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？



●キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

**状況** ●どのキーを押しても反応しない



●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

**状況** ●電源を入れ直しても反応しない



●**Ctrl** キーと **Alt** キーを押したまま **Delete** キーを押してください。

**状況** ●**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押しても反応しない



●リセットスイッチを押してください。

**状況** ●半角の「`」（チルダ）が入力できない



●**Shift** キーを押したまま **Alt** キーを押してください

**状況** ●「£」「¢」「々」などが入力できない



●OADG規格の106キーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照してください。

**状況** ●希望の文字が入力できない



●キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

## ● マウスの操作ができない

**状況** ● マウスを操作しても反応しない

**確認** マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

**対処** ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

## ● フロッピーディスク装置が使えない

**状況** ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**[Ctrl] + [Alt] + [Delete]**キーを押しても（またはリセットスイッチを押しても）システムが再起動しない

**確認** システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

**対処** ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

**確認** フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

**対処** ● BIOS セットアップの「Floppy Disk controller」の設定を「Enabled」に変更してください。

☞ 「5章 BIOS セットアップについて」

- 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。  
どうしてもフロッピーディスク装置が使えない場合は、フロッピーディスク装置が故障している場合があるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

**状況** ● FDD アクセスランプが消えない

**対処** ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]**キーと**[Alt]**キーを押したまま**[Delete]**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

## ● フロッピーディスクが使えない

**状況** ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

**確認** フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

**対処** ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。  
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「1章 4-4- 3.5型フロッピーディスク」

**状況** ● 「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

**確認** フォルダは作成されていますか？

**対処** ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

**状況** ● 「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

**確認** ディスクの空き容量が少なくありませんか？

**対処** ● 不要なファイルを削除して、やり直してください。  
● 別のフロッピーディスクを使用してください。

**状況** ● フロッピーディスク装置にフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージのウィンドウが表示される

**対処** ● メッセージウィンドウの [キャンセル] ボタンを閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

**状況** ● フロッピーディスク装置に、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブ A のディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージのウィンドウが表示される

**対処** ● メッセージウィンドウの [いいえ (N)] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

## ● アプリケーションソフトが使えない

**状況** ● アプリケーションソフトが思うように動かない

**確認** システム構成は正しく設定されていますか？

**対処** ● アプリケーションソフトに付属の説明書を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

**状況** ●アプリケーションソフトが動かない

**確認** そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？



対処

●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。  
お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

## ●ハードディスク装置が使えない

---

**状況** ●データの読み / 書きができない



対処

●そのハードディスク装置は故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

## ●CD-ROM 装置が使えない

---

**状況** ●CD-ROM 装置にアクセスできない

**確認** CD-ROM 装置のディスクトレイはきちんとしまっていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを正しく格納してください。

**確認** CD がきちんとセットされていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

**確認** CD-ROM 装置のディスクトレイに異物はありませんか？



対処

●何かはさまっていたら取り除いてください。

**確認** CD が汚れていませんか？



対処

●水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

**確認** 対応していないフォーマットのCD-ROM をセットしていませんか？



対処

●CD-ROM 装置が対応しているフォーマットのCD-ROM をセットしてください。

☞ 「1章 4-3 CD-ROM 装置について」

**状況** ● CDが取り出せない

**確認** 電源が切れていませんか？

**対処** ● 電源を入れてから、CD-ROM装置のイジェクトボタンを押してください。

## サウンドが鳴らない

**状況** ● 音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が出ない

**確認** ボリュームが下がっていませんか？

**対処** ● ボリュームコントロールで、音量を確認してください。

**確認** スピーカが接続されていますか？

**対処** ● 本体背面のLINE OUT端子にスピーカ（別売り）を接続してください。  
☞ スピーカの接続方法 ☞ 「4章5 スピーカ（別売り）の接続」

## 印刷できない

**状況** ● プリンタが動作しない

**確認** プリンタの電源は入っていますか？

**対処** ● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

**確認** 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

**対処** ● 正しく接続してください。  
☞ プリンタの接続方法 ☞ 「4章3 プリンタの接続」

**状況** ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

**確認** アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

**対処** ● アプリケーションソフト上、またはWindowsのプリンタ設定で正しく設定し直してください。  
☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

## ● テレビ、ラジオに障害が出る

---

**状況** ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

**確認** テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

## ● 異常や故障の場合

---

**状況** ● 異常な臭いや過熱に気がついた



- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
  - ・お買いあげの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
  - ・使用している機器の名称
  - ・ご購入年月日
  - ・現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

## ● どうしてもわからない場合

---

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

# 付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

<b>1</b>	製品仕様 .....	196
<b>2</b>	各インタフェース .....	202
<b>3</b>	その他の設定 .....	208

# 1 製品仕様

## 1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

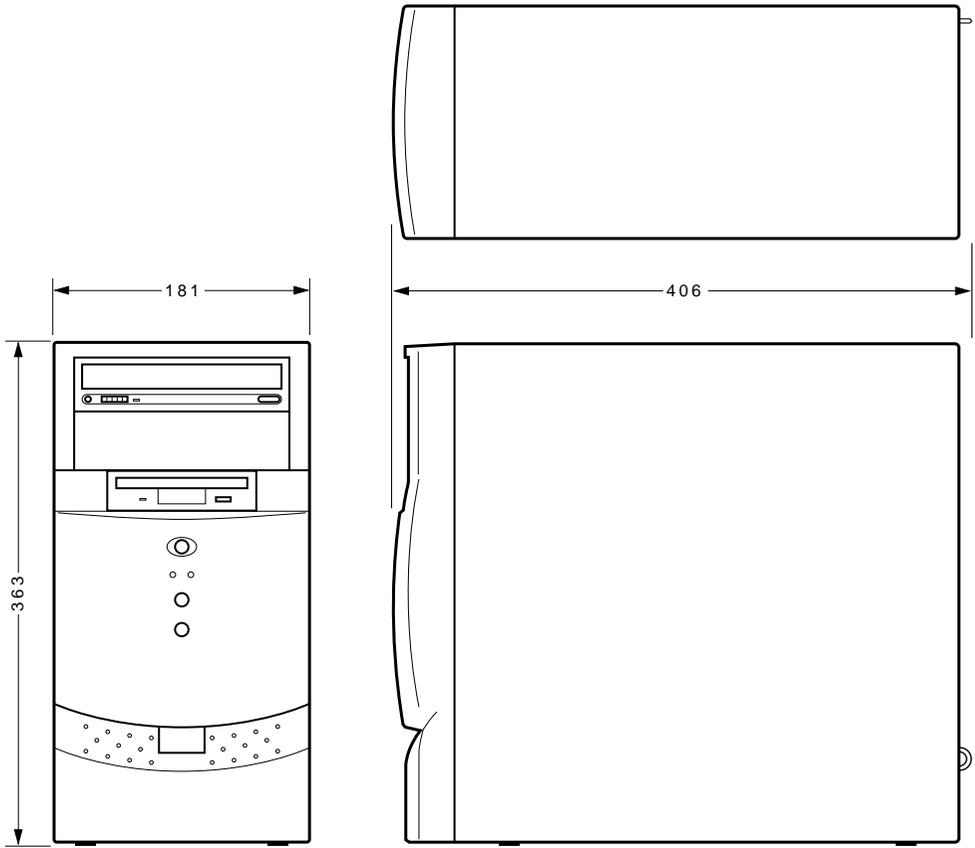
機種		EQUIUM 3100	
プロセッサ	メインプロセッサ	Celeron™ 533MHz	
		・CACHE (32kB) ・FPU内蔵 ・2次CACHE (128kB)	
メモリ	標準メモリ	DIMM 64MB SDRAM (100MHz)	
	増設メモリ	DIMMスロット×2 (内1つは標準メモリで使用) 最大512MB (256MB×2) 使用可能 DIMM 64MB / 128MB / 256MB (100MHz)	
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)	
表示機能	コントローラ	Intel 810 Integrated	
	ビデオRAM	メインメモリ共用	
	グラフィック表示 (ノンインタレース)	640×480	256・64k・16M色
		800×600	256・64k・16M色
1024×768		256・64k・16M色	
1280×1024		256・64k・16M色	
1600×1200	256色		
通信機能	伝送速度	100Mbps / 10Mbps	
	適合規格	100BASE-TX / 10BASE-T	
サウンド	コントローラ	810 Integrated Soft Audio	
補助記憶装置	FDD	標準	3.5型 1台装備 720kB / 1.2MB / 1.44MB (3モード)
		HDD	標準
	増設		内蔵3.5型スロットまたは5型スロット
	CD-ROM	標準	ATAPI 40倍速 (最大)
入力装置	キーボード	109キー 分離型	
	マウス	2ボタンホイール付き PS/2マウス	
システム制御		PCI (Peripheral Component Interconnect)	
ファイル スロット	3.5型 ドライブキャリア	3スロット (内2つはFDDとHDDで使用)	
	5型 ファイルスロット	2スロット (内1つはCD-ROMで使用)	

機 種		EQUIUM 3100
インタフェース	シリアル	1ポート D-Sub 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	ディスプレイ	1ポート アナログ RGB セパレート信号出力、ミニD-sub15ピン(3列タイプ)
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート RJ-45 (PCカード上に装備)
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート *1
	MIDI/ ジョイスティック	1ポート
拡張スロット	PCI	PCIフルサイズ x3 *2
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug & Play対応BIOS *1
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	75W
周囲温度	動作	10 ~ 35
	非動作	- 20 ~ 60
相対湿度	動作	30%Rh ~ 80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	10%Rh ~ 90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	181(W) x 406(D) x 363(H) mm
	キーボード	480(W) x 167(D) x 42(H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約9.0kg
	キーボード	約0.9kg

\*1 Windows NT4.0 をご使用の場合は、サポートされません。

\*2 内蔵 3.5 インチベイに増設した場合は、290mm 以下となります。

## 2 外形寸法図



( 単位 : mm )

### 3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512/640kB	システムボードRAM
000A0000	128kB	ビデオメモリエリア
000C0000	128kB	BIOSエリア他
000E0000	128kB	システム BIOSエリア他
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
20000000		

## 4 I/O マップ

アドレス	サイズ	Plug & Play	I/O
0000-000F	16バイト	N/A	DMA CONTROLLER 1
0020-0021	2バイト	N/A	INTERRUPT CONTROLLER 1
0040-0043	4バイト	N/A	TIMER 1
0048-004B	4バイト	N/A	TIMER 2
0060	1バイト	N/A	KEYBOARD CONTROLLER DATA BYTE
0061	1バイト	N/A	NMI STATUS & SPEAKER CNTRL
0064	1バイト	N/A	KEYBOARD CONT. CMD/STATUS BYTE
0070-007F	16バイト	N/A	REAL-TIME CLICK, NMI MASK
0080-008F	16バイト	N/A	DMA PAGE REGISTERS
00A0-00A1	2バイト	N/A	INTERRUPT CONTROLLER 2
00C0-00DE	31バイト	N/A	DMA CONTROLLER 2
00E0-00EF	16バイト	N/A	RESERVED
00F0	1バイト	N/A	CLEAR MATH COPROCESSOR ERROR
00F1	1バイト	N/A	RESET MATH COPROCESSOR
0F8-0FF	8バイト	N/A	MATH COPROCESSOR
170-177	8バイト	NO	SECONDARY IDE CHANNEL
1F0-1F7	8バイト	NO	PRIMARY IDE CHANNEL
200,202,207	3バイト	YES(Rev 1.1)	GAME I/O
220-22F	17バイト	YES(Rev 1.1)	SOUND PORT
238-23F	8バイト	YES	SERIAL PORT 4 ( USED FOR REMAPPING )
278-27F	8バイト	YES	PARALLEL PORT 2
2B0-2DF	48バイト		ALTERNATE EGA ADAPTER
2F8-2FF	8バイト	YES	SERIAL PORT 2
338-33F	8バイト	YES	SERIAL PORT 3 ( USED FOR REMAPPING )
370-375	6バイト	YES	FLOPPY CONT. ( SECONDARY ADDRESS )
376	1バイト	NO	SECONDARY IDE CHANNEL CMD PORT
377	1バイト	NO	SECONDARY IDE CHANNEL STAT PORT
378-37F	8バイト	YES	PARALLEL PORT 1
3B0-3B8	16バイト		MONO DISPLAY & PRINTER ADAPTER
3C0-3CF	16バイト		EGA ADAPTER
3D0-3DF	16バイト		CGA ADAPTER
3F0-3F5,3F7	7バイト	YES	FLOPPY CONTROLLER ( PRIMARY )
3F8-3FF	8バイト	YES	SERIAL PORT 1
CF8-CFF	8バイト	N/A	PCI CONFIGURATION SPACE

## 5 割り込みレベル・DMAチャンネル

### ● 割り込みレベル

IRQ	Channel
0	Interval Timer
1	Keyboard
2	IRQ from Second Interrupt
3	USB
4	Serial Port
5	User
6	Floppy
7	Parallel Port 1
8	Real Time Clock
9	Sound
10	VIDEO
11	Sound / LAN
12	Mouse Port
13	Math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

ソフトウェアによって変更される場合があります。

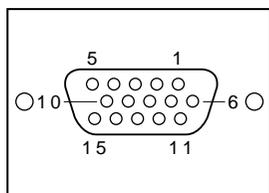
### ● DMA チャンネル

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	User
1	8/16ビット	User
2	8/16ビット	Floppy
3	8/16ビット	Parallel Port
4	-----	16-Bit DRQ/DACK from Second DMA
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

## ② 各インタフェース

### ① RGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

### ② RGB インタフェースの同期信号

#### ● 解像度・色数・走査線

解像度	640×480		800×600		1024×768		1280×1024
色数	256・32K ・64K・16M		256・32K ・64K・16M		256・32K ・64K		256
走査方式	Ni	NiFF	NiFF	NiFF	NiFF	NiFF	Ni
水平同期(KHz)	31.5	37.5	46.9	53.7	60.0	68.7	64.0
垂直同期(Hz)	60.0	75.0	75.0	85.0	75.0	85.0	60.0

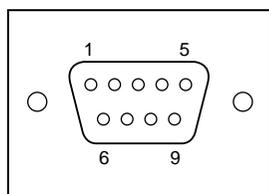
- ・色数 256 : 256 色、32k : 32,768 色、64k : 65,536 色、16M:1,677 万色
- ・走査方式 Ni : ノンインタレース、NiFF : ノンインタレースフリッカフリー

ご使用になれる解像度、色数は、接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

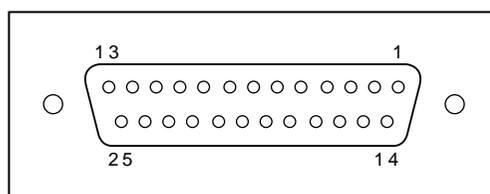
### ③ シリアルインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

### ④ パラレルインタフェース

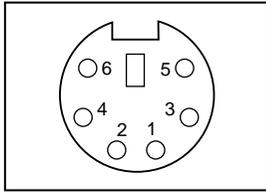


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0～PD7のデータを書き込むための同期出力信号	O
2～9	PD0～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グラウンド	

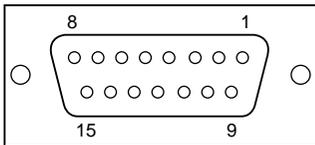
## 5 キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



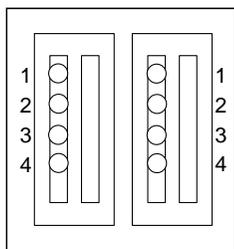
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グラウンド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

## 6 MIDI/ ジョイスティックインタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	Joy Stick But 0	I/O
3	Joy Stick x1	I/O
4	GND	
5	GND	
6	Joy Stick Y1	I/O
7	Joy Stick But 1	I/O
8	+5V	
9	+5V	
10	Joy Stick But 2	I/O
11	Joy Stick x2	I/O
12	MIDI OUT	I/O
13	Joy Stick Y2	I/O
14	Joy Stick But 3	I/O
15	MIDI IN	I/O

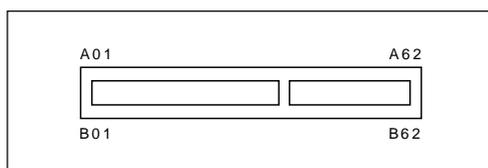
## 7 USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

## 8 拡張スロット (PCI タイプカード用)

PCIタイプカード



### ● 拡張スロット (PCI タイプ)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD〔31〕	I/O	AD〔30〕	I/O
21	AD〔29〕	I/O	+3.3V	
22	GND		AD〔28〕	I/O
23	AD〔27〕	I/O	AD〔26〕	I/O
24	AD〔25〕	I/O	GND	
25	+3.3V		AD〔24〕	I/O
26	C/BE〔3〕#	I/O	IDSEL	I
27	AD〔23〕	I/O	+3.3V	
28	GND		AD〔22〕	I/O
29	AD〔21〕	I/O	AD〔20〕	I/O
30	AD〔19〕	I/O	GND	
31	+3.3V		AD〔18〕	I/O
32	AD〔17〕	I/O	AD〔16〕	I/O
33	C/BE〔2〕#	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE〔1〕#	I/O	AD〔15〕	
45	AD〔14〕	I/O	+3.3V	
46	GND		AD〔13〕	I/O
47	AD〔12〕	I/O	AD〔11〕	I/O
48	AD〔10〕	I/O	GND	
49	GND		AD〔09〕	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD〔08〕	I/O	C/BE〔0〕#	I/O
53	AD〔07〕	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD〔06〕	I/O
55	AD〔05〕	I/O	AD〔04〕	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
56	AD〔03〕	I/O	GND	
57	GND		AD〔02〕	I/O
58	AD〔01〕	I/O	AD〔00〕	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

## ● 拡張スロットの電流容量

拡張スロット全体（オプションカード、増設ハードディスク装置、5型装置のすべてを含む）で使用可能な電流容量は次のとおりです。

拡張スロットの取り付けの際は、次の制限を必ず守ってください。

拡張スロットの許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+5V	2.25A以下
+12V	1A以下
-12V	0.15A以下
+3.3V	3A以下

# 3 その他の設定

## 1 Windows 98 / 95 モデル

### ● DDC 機能について

EQUIUM シリーズでは、VESA(Video Electronics Standard Association)準拠の DDC(Display Data Channel)機能を持っており、プラグアンドプレイに対応しています。DDC 機能とは、モニタとの通信機能のことです。

ただし、ディスプレイが対応していない場合は、DDC 機能は使用できません。ディスプレイに付属のマニュアルでご確認ください。

DDC 機能を持っていないディスプレイを接続したとき、Windows 95 のセットアップ直後は、ディスプレイの設定が「Super VGA 1024 x 768」になっています。これは一般的な設定ですので、ご使用のディスプレイに合う設定に変更することをおすすめします。



お願い

・「東芝 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2(CRT21002)」は DDC 機能に対応した CRT ディスプレイですが、正しく動作しない場合があります。その場合は、次にあげる手順に従い、設定してください。

### ● Windows 98 の場合

- 1 [スタート]メニューから [設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [画面] アイコンをダブルクリックする  
「画面のプロパティ」が起動します。
- 3 [設定] タブの [詳細] ボタンをクリックする
- 4 [モニタ] タブをクリックする
- 5 [変更] ボタンをクリックする  
[デバイスドライバの更新ウィザード] 画面が表示されます。
- 6 [次へ] ボタンをクリックする
- 7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする
- 8 「すべてのハードウェアを表示」をチェックし、使用するディスプレイの [製造元] および [モデル] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする  
「東芝製 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2」をご使用の場合は、次のように選択してください。  
[製造元] TOSHIBA [モデル] Toshiba CRT21002
- 9 [次へ] ボタンをクリックする
- 10 [完了] ボタンをクリックする
- 11 [閉じる] ボタンをクリックする
- 12 [OK] ボタンをクリックする  
「画面のプロパティ」が終了します。

## ● Windows 95 の場合

- 1 [スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [画面]アイコンをダブルクリックする  
「画面のプロパティ」が起動します。
- 3 [ディスプレイの詳細]タブの[詳細プロパティ]ボタンをクリックする
- 4 [モニター]タブをクリックする
- 5 [変更]ボタンをクリックする  
[デバイスの選択]画面が表示されます。
- 6 [すべてのデバイスを表示]をクリックする
- 7 使用するディスプレイの[製造元]および[モデル]を選択し、[OK]ボタンをクリックする  
「東芝製 21 型 SVGA カラーディスプレイ 2」をご使用の場合は、次のように選択してください。  
[製造元] TOSHIBA      [モデル] Toshiba CRT21002
- 8 [閉じる]ボタンをクリックする
- 9 [OK]ボタンをクリックする  
「画面のプロパティ」が終了します。

## ● DirectX について

### ● DirectX のインストールについて

ゲームなどをインストールするときに、DirectX のインストールをうながすウィンドウが表示される場合がありますので、ドライバを置き換えないことをおすすめします。インストールをする場合は、内容をよく理解したうえで、お客様の責任においてインストールを行なってください。本装置にはすでに DirectX7 ドライバがインストールされております。



- ・DirectX7 を置き換えてしまった場合、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

## ● ディスプレイアダプタの設定について

ゲームをインストールした後に、次の「ディスプレイアダプタの変更方法」の手順 1 ~ 4 を実行し、ディスプレイアダプタの設定内容を確認してください。工場出荷時の設定は次のとおりです。

ディスプレイアダプタ : Intel (r) 82810 Graphics Controller 4.12.01.2576

ディスプレイアダプタの設定が異なる場合は、「ディスプレイアダプタの変更方法」の手順 1 ~ 9 を実行し、工場出荷時の設定に戻してください。



・ディスプレイアダプタが変更された状態のままでは、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

## ● ディスプレイアダプタの変更方法

画面は Windows 98 を例にして説明しています。

- 1** デスクトップ上の、アイコンなどが何も表示されていないところで、マウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ (R)] をクリックする  
[画面のプロパティ] のウィンドウが表示されます。
- 2** [設定] (Windows 95 の場合は [ディスプレイの詳細]) タブをクリックする



- 3** [ 詳細 ] ( Windows 95 の場合は [ 詳細プロパティ(A) ] ) をクリックする [ XXXXX ( ディスプレイアダプタ名 ) のプロパティ ] または [ ディスプレイの詳細プロパティ ] ウィンドウが表示されます。



- 4** [ アダプタ ] タブをクリックする  
Intel ( r ) 82810 Graphics Controller 4.12.01.2576  
が表示されている場合は、以降の作業は必要ありません。 [ キャンセル ] をクリックして作業を終了します。
- 5** [ 変更(C) ] をクリックする  
Windows 98 では [ デバイスドライバの更新ウィザード ] ウィンドウが表示されます。  
ウィザードの指示に従って変更してください。  
Windows 95 の場合は、 [ 変更 ( C ) ] をクリックした後、さらに次の手順で変更してください。
- 6** [ モデル(L): ] 一覧の「 Intel ( r ) 82810 Graphics Controller 4.12.01.2576 」  
上でダブルクリックする
- 7** [ ディスプレイの詳細プロパティ ] ウィンドウが表示されるので、 [ 閉じる ]  
をクリックする
- 8** [ 画面のプロパティ ] ウィンドウが表示されるので、 [ 閉じる ] をクリックする  
システムを再起動するか、メッセージが表示されます。
- 9** [ はい(Y) ] をクリックする  
システムが再起動し、ディスプレイアダプタの変更が反映されます。

## 2 Windows NT モデル

---

### ● Service Pack6 のインストールについて

ネットワークドライバなどを追加 / 変更した場合に、Service Pack6 を再インストールする必要があります。

次の手順に従って、インストールを行なってください。

#### 1 Service Pack6 をインストールする

デスクトップの Service Pack6 セットアップアイコンをダブルクリックしてください。